

# 理事会だより

令和5年7月1日発行

## 『令和5年度第1回理事会を開催』

4月11日（火）午後4時から市役所7階会議室にて、理事全員出席のもと第1回理事会を開催しました。今年度は全理事が任期満了後に再任したため、当会顧問の富田竜馬市長から委嘱書の交付が行われました。その後、役員を選任を行い、会長に篠宮貞樹氏、副会長に荒島久人副市長、大島豊治氏、山下文蔵氏が選ばれました。他の役員については4月中旬にお送りしました事業ガイド3ページをご確認ください。役員選任の後、事務局から提出された議案を審議しました。審議は事務局からの説明を受けたのち慎重に審査を行い、結果は以下のとおりです。

### 当日提出された議案と結果

議案第1号 専決処分 令和4年度東久留米市勤労市民共済会一般会計補正予算  
(第2号)の承認について 審議結果＝承認

### 「審議経過」

提出された議案第1号については、特に意見や質問もなく原案のとおり承認されました。

## 『令和5年度第2回理事会を開催』

5月23日（火）午後3時から市役所7階会議室にて、第2回理事会を開催しました。事務局から提出された議案は2件。審議は事務局からの説明を受けたのち慎重に審査を行い、結果は以下のとおりです。

### 当日提出された議案と結果

議案第2号 令和4年度東久留米市勤労市民共済会事業報告及び一般会計歳入歳出  
決算の認定について 審議結果＝認定  
議案第3号 令和5年度東久留米市勤労市民共済会一般会計補正予算(第1号)に  
ついて 審議結果＝原案可決

### 「審議経過」

提出された議案第2号及び第3号については、特に意見や質問もなく原案のとおり認定・可決されました。

議案第3号については、令和5年度の当初予算を補正する内容で次のような説明がありました。

## 当初予算からの変更点（概要）

令和5年4月からスタートした当初予算だが、年度当初に以下の歳入歳出の補正要素が発生したため補正予算（第1号）を提案する。

### ○歳入歳出補正の要因

【歳出要素】勤労市民共済会運営費補助金の精算により59万6,519円の返還金が確定したため、当初予算28万3千円に31万4千円の増額補正を行うこと。

【歳入要素】令和4年度決算により、繰入金の額（24万7千円）と繰越金の額（3千円）が確定したため、繰入金の当初予算額134万8千円に110万1千円の減額補正、繰越金の当初予算額1千円に2千円の増額補正を行うこと。

【結果】141万3千円の歳入不足となることから、これに対処する補正予算（第1号）の提案があり『勤労市民共済会の財政状況は大変厳しい状態にある』との説明がありました。

## 【厳しい財政状況の要因】

事務局説明

- ① 本会の会員数は、平成21年度の1,988人をピークに、令和5年当初では1,283人と705人の減で、ピーク時から比べ64.5%の水準となっている。会員数の減少から会費収入も減少しているが、過去5年間の当初予算は、平均的に3,750万円を計上し毎年同様のサービスを提供している。これにより、繰越金の減少に加え、事業運営基金も底を突く状況となった。このことから、歳入（会費）と歳出（福利厚生事業）のバランスなどを考慮し、今年度から会費改定を行ったが、更に安定的な運営や事業継続に向けた方策を総合的に考えていく必要がある。
- ② こうした点を踏まえ、今後の理事会等で「令和5年度決算」状況を見据え、令和6年度予算編成方針・事業計画・予算案を策定していく必要がある。
- ③ 安定運営に向けて、加入事業所等を増やしていくことが求められる。そこで、本年6月から8月にかけて「新規入会・紹介キャンペーン」を実施する。理事会や関係部署などから事業所や個人事業者情報などの提供やご協力を頂き、新たな加入者の獲得に向けて取り組んでいく。

## 【理事会の対応】

第2回理事会に提案された「議案第3号」は、既に令和5年度事業計画がスタートしていること等を勘案し議決することとし、今後の理事会等において、勤労市民共済会の取り組み方針など「令和6年度予算編成方針」策定の中で議論していくことといたしました。

## 【会員の皆様へ】

### — 『お知り合いの未加入事業者をご紹介ください』 —

『勤労市民共済会』は、皆様の会費などを財源とした「会員の総合的な福祉向上」を目的とした公益的な仕組みです。

ぜひ、安定的な運営に向けて、会員皆様のお知り合いやお取引先などをご紹介ください。ご紹介いただける方は、下記連絡先までお願いいたします。

連絡先 勤労市民共済会 事務局  
電話 042-470-7777 （内）4951  
担当 師岡、但馬